

夢舞大橋



- 発注者 大阪市
- 形式 旋回式浮体橋(上部工:ダブルアーチ形式上部工、浮函:鋼製ポンツーン2基)
- 支間長 浮体橋 65.7m+280.0m+65.7m
- 有効幅員 10.5m×2(車道)+4.0m×2(歩道)
- 鋼材質量 33,150t(浮体橋:18,875t、ポンツーン:6,108t、係留構造:8,167t)
- 架設工法 ドックにおける組立(完成形)、タグボートによる曳航
- 完工 平成13年3月
- 特徴
- ・大阪港の夢洲と舞洲を結ぶ世界初の旋回式浮体橋である。大阪港の主航路で緊急事態が発生した場合、橋を旋回させて大型船舶を航行させることができる。
 - ・設計に際しては、①風、波による浮体橋の動揺量の把握、②開閉時における旋回機能の確認、③道路の使用性(乗り心地)と、道路線形の変化に対する走行安全性の検証、④係留用緩衝材であるゴムフェンダーの力学特性の把握、等が検討されている。
 - ・タグボートによる曳航時(写真下段左)、架橋現場での旋回試験時(写真下段右)